

## 蚕病予防剤ビヨトメックに関する試験(2)

誌名	蠶業試験場彙報
著者	河野, 茂盛
巻/号	17号
掲載ページ	p. 23-40
発行年月	1922年11月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター  
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council  
Secretariat



# 蠶病豫防劑ビヨトメツクに關する試驗 其二

## 蠶兒飼育上の效果に就ての觀察

技手 河野 茂盛

### 緒言

近年蠶兒を飼育するに當り桑葉と共に藥劑を給與することによりて養蠶の利益を増進するものなりと稱し坊間に販賣せらるゝ藥品尠からず、本場は曩に蠶増絲劑に關する試験成績を發表せしが更に大正十年秋蠶期に於て中根農學士の發明に係る蠶病豫防劑ビヨトメツクの蠶兒飼育上に及ぼす效果如何を調査せるを以て今其成績を記載せん。

### 實 驗

實驗に供せる藥劑は京都衣笠蠶興社化學工業部より購入し、其使用は本劑説明

書に記載せられたる使用法により次の試験區を設け行へり。

供試品種	試驗區	
	(1) 第四齡開始區	(2) 第五齡開始區
國蠶日一〇六號	混合育	蠶量五分
	一蛾育	蠶量五分
國蠶日一〇七號	混合育	蠶量五分
	一蛾育	蠶量五分
× ♀國蠶日一〇〇六號	混合育	蠶量五分
	一蛾育	蠶量五分

備考 一蛾育區は第四齡開始區にありては四齡二日目に各蛾區の蠶兒を二分して夫々對照區、藥劑區となし、第五齡開始區にありては五齡二日目に各蛾區を三分し夫々對照區、濡桑區、濡桑藥劑區とせり、次に混合育區は孵化前に於て第四齡開始區は各蛾區の卵を切半し、第五齡開始區は各蛾區の卵を三分し各其一部分宛を集め夫々試験區の材料となせり。

調査項目は本劑發明者が大正八年十一月及大正九年七月の兩回蠶業新報(第七百二十號第廿八號)紙上に本劑の效果に就て發表せられたる(1)蠶病を豫防又は治

療し減蠶を尠からしめ(2)濡桑の害を除き蠶兒の發育を可良ならしむるを以て(3)蠶兒を肥大せしめ(4)收繭量を増加し(5)繭層量、絲量を加へ繭質を向上せしむること顯著なるものなりとの記載に鑑み、(一)減蠶歩合(二)蠶兒體重(三)生繭重(四)繭層量(五)絲長(六)絲量(七)織度の七項に就て調査を行へり、以下順次其成績を掲げん。

(一) 減蠶歩合

試験開始後に於ける減蠶歩合を比較すれば次の如し。

(1) 第四齡開始區

對照區	藥劑區	試驗區		國蠶日一〇六號
		混合育	一 蛾 育	
四二、一	二八、九	四 區	六 區	國蠶日一〇七號
三、五四	三、九六	兩區を比較して減少せる區數	各區ノ平均	國蠶日一〇六號
五六、二	四九、七	混合育	一 蛾 育	× 國蠶日一〇〇七號
三、〇九	元、五三	兩區を比較して減少せる區數	各區ノ平均	國蠶日一〇〇七號
四二、五	四七、八	混合育	一 蛾 育	
六 區	四 區	兩區を比較して減少せる區數	各區ノ平均	
二七、三九	三〇、一			

(2) 第五齡開始區

(イ) 濡桑藥劑區と濡桑區との比較

濡桑藥劑區	一四、四	八	一二、六	七五、四	五	二三、五	四四、九	六	一七、八
對照區	一三、七	二	一五、五	七六、七	四	二五、一	四二、八	四	二一、九

(口) 濡桑藥劑區と對照區との比較

濡桑藥劑區	二六、〇	七	一三、四	八一、九	四	二二、六	四五、六	五	二三、三
對照區	一三、七	三	一五、五	七六、七	三	二五、一	四二、八	五	二一、九

備考

上表中「兩區を比較して減少せる區數」とは第四齡開始區にありては對照區と藥劑區、第五齡開始區にありては濡桑藥劑區と濡桑區又は對照區とを比較して其減蠶歩合が減少せる場合十蛾區中何蛾區ありしやを意味するものなり(以下倣之)、尙第五齡開始區國蠶日一〇七號に於ける供試蛾區數は合計九蛾區なるも對照區と濡桑藥劑區との兩區を比較せる合計蛾區數は七蛾區にして二蛾區の不足を來せるは之れ該二蛾區に於て兩試驗區の成績同一なりし事を示すものなり(以下其他の品種の場合も之に倣ふ)。

上表の結果を觀るに第四齡開始區に於て國蠶日一〇六號及同日一〇七號の成績は藥劑區の減蠶歩合が對照區に比して減少する傾向存すと雖國蠶日一〇六號一蛾育の成績にありては其差異極めて少くして藥劑區の減蠶歩合が對照區

に比して減少する場合は只二區の多さを示すに過ぎず、加之國蠶日一〇六號×同日一〇七號の成績に於ては全く上記の場合と反對の成績を示し藥劑區の成績は常に不良なる結果を呈せり。

次に第五齡開始區に於ける濡桑藥劑區を濡桑區に比較するに混合育にありては概して濡桑藥劑區は濡桑區より減蠶歩合僅に少しと雖一蛾育に於ては各品種を通じて毫も濡桑藥劑區の成績優良なる事實を示さず、更に濡桑藥劑區を對照區に比較するに混合育にありては各品種を通じて濡桑藥劑區の減蠶歩合幾分少なけれども一蛾育にありては兩者は大差なきか若は對照區の成績却て良好なる場合多き結果を呈せり。

由是觀之、本劑を第四齡期より普通桑と共に使用せる場合に於て偶々減蠶歩合少かりしものもありしと雖第五齡期より濡桑と共に使用せるものに於ては却て其成績を不良ならしめたる場合尠からず。

## (二) 蠶兒體重

### (1) 四眠起蠶體重

第四齡開始區の蠶兒に就て調査せるものにして其方法は一蛾育にありては一區全部の起蠶(一區の頭數平均一八〇頭)をとり之を雌雄に分ち各別に秤量し、混合育に於ては一區より起蠶一五〇〇頭をとり之を秤量し、共に對一頭體重を算出し對照區と藥劑區との成績を比較せり、其成績次の如し。

藥劑區	對照區			試驗區		國蠶日一〇六號	國蠶日一〇七號	×國蠶日一〇〇六號
	平均	合	早	混合育	一蛾育			
〇八五九	〇七七七	〇七七七	〇七七七	混合育	一蛾育	〇七三三	〇七三三	〇七三三
七	三	三	三	兩區を比較して増加せる區數	各區の平均	〇七三三	〇七三三	〇七三三
〇七五九	〇七四七	〇七四七	〇七四七	混合育	一蛾育	〇七三三	〇七三三	〇七三三
〇七五九	〇七四七	〇七四七	〇七四七	兩區を比較して増加せる區數	各區の平均	〇七三三	〇七三三	〇七三三
〇七五九	〇七四七	〇七四七	〇七四七	混合育	一蛾育	〇七三三	〇七三三	〇七三三
〇七五九	〇七四七	〇七四七	〇七四七	兩區を比較して増加せる區數	各區の平均	〇七三三	〇七三三	〇七三三
〇七五九	〇七四七	〇七四七	〇七四七	混合育	一蛾育	〇七三三	〇七三三	〇七三三
〇七五九	〇七四七	〇七四七	〇七四七	兩區を比較して増加せる區數	各區の平均	〇七三三	〇七三三	〇七三三

上表の結果を綜合するに藥劑區の起蠶體重は混合育、一蛾育共に對照區の起蠶體重より増加する傾向なきに非るも其差甚しからず。

(2) 熟蠶體重

第四齡開始區及第五齡開始區の兩者に就て一區の熟蠶多きは二〇〇頭少きも二〇頭、平均六〇頭内外を拾ひ出して秤量し對一頭體重を算出し對照區と試験區とを比較せり、次に其成績を示さん。

(甲) 第四齡開始區

試驗區	國蠶日一〇六號		國蠶日一〇七號		×國蠶日一〇〇七號	
	一	育	一	育	一	育
混合育	兩區を比較して増加せる區數		混合育		兩區を比較して増加せる區數	
平均	各區の平均		混合育		兩區を比較して増加せる區數	
對照區	二	〇六二〇 <sub>女</sub>	〇	〇六三〇 <sub>女</sub>	四	〇七二 <sub>女</sub>
藥劑區	八	〇六二〇 <sub>女</sub>	一〇	〇六七 <sub>女</sub>	六	〇七〇 <sub>女</sub>

(乙) 第五齡開始區

(イ) 濡桑藥劑區と濡桑區との比較

濡桑藥劑區	濡桑區	國蠶日一〇六號	國蠶日一〇七號	×國蠶日一〇〇七號
〇七三〇	〇六六〇	三	〇六三〇	六
〇七〇一	〇七二五	五	〇六三〇	四
〇七〇一	〇六九〇	—	〇六三〇	〇七二 <sub>女</sub>



(口) 濡桑藥劑區と對照區との比較

對照區	〇六〇〇	一	〇六五三	〇六〇〇	〇六五〇	〇	〇六九八
濡桑藥劑區	〇六〇〇	六	〇六〇一	〇六〇〇	—	—	〇七五八

上表を通覽するに第四齡開始區に於ける藥劑區は對照區に比し其熟蠶體重を増加する傾向ありと雖國蠶日一〇六號×同日一〇七號に於ては其差は大ならず。

次に第五齡開始區に於ける濡桑藥劑區を濡桑區に比較せる結果を見るに、混合育に於ては各品種共濡桑藥劑區の體重僅に重けれど一蛾育の成績に於ては其傾向一定せず、次に濡桑藥劑區と對照區との比較に於ては濡桑藥劑區の體重は對照區に比して増加する傾向あるを認むべし。

即第四齡開始區も第五齡開始區も藥劑を使用せるものは對照區に比して熟蠶體重重けれども濡桑區に比較すれば一定の傾向を認むる能はず。

(三) 生繭重

生繭の重量は一蛾育にありては一區の上繭全部に就き、一顆宛雌雄別に生繭重

を調査し其平均價及中央誤差を測定し、混合育に於ては一區の上繭中、一粒繰供試繭を除ける他の上繭全部を同時に秤量して一穎の生繭重を算出し、試験區と對照區との成績を比較せり、其結果は次の如し。

(1) 第四齡開始區

對照區	混合育	國蠶日一〇六號	
		一區	平均
混合育 兩區を比較して増加せる區數	混合育 兩區を比較して増加せる區數	一	一
各區の平均	各區の平均	一七、二九五	一七、二九五
對照區	混合育	國蠶日一〇七號	
混合育	混合育	一	一
各區の平均	各區の平均	一七、二九五	一七、二九五
對照區	混合育	× 國蠶日一〇六號	
混合育	混合育	一	一
各區の平均	各區の平均	一七、二九五	一七、二九五

(2) 第五齡開始區

(イ) 濡桑藥劑區と濡桑區との比較

濡桑藥劑區	混合育	國蠶日一〇七號	
		一區	平均
混合育 兩區を比較して増加せる區數	混合育 兩區を比較して増加せる區數	一	一
各區の平均	各區の平均	一七、二九五	一七、二九五
濡桑區	混合育	× 國蠶日一〇六號	
混合育	混合育	一	一
各區の平均	各區の平均	一七、二九五	一七、二九五

(口) 濡桑藥劑區と對照區との比較

對照區	一四九八一	一四九八二	一四九八三	一四九八四	一四九八五	一四九八六	一四九八七	一四九八八	一四九八九	一四九九〇	一四九九一	一四九九二	一四九九三	一四九九四	一四九九五	一四九九六	一四九九七	一四九九八	一四九九九	一五〇〇〇
瀋桑藥劑區	一四九八六	一四九八七	一四九八八	一四九八九	一四九九〇	一四九九一	一四九九二	一四九九三	一四九九四	一四九九五	一四九九六	一四九九七	一四九九八	一四九九九	一五〇〇〇	一五〇〇一	一五〇〇二	一五〇〇三	一五〇〇四	一五〇〇五
合	早	合	早	合	早	合	早	合	早	合	早	合	早	合	早	合	早	合	早	合
瀋桑藥劑區	一五〇一〇	一五〇一一	一五〇一二	一五〇一三	一五〇一四	一五〇一五	一五〇一六	一五〇一七	一五〇一八	一五〇一九	一五〇二〇	一五〇二一	一五〇二二	一五〇二三	一五〇二四	一五〇二五	一五〇二六	一五〇二七	一五〇二八	一五〇二九
對照區	一五〇三〇	一五〇三一	一五〇三二	一五〇三三	一五〇三四	一五〇三五	一五〇三六	一五〇三七	一五〇三八	一五〇三九	一五〇四〇	一五〇四一	一五〇四二	一五〇四三	一五〇四四	一五〇四五	一五〇四六	一五〇四七	一五〇四八	一五〇四九
瀋桑藥劑區	一五〇五〇	一五〇五一	一五〇五二	一五〇五三	一五〇五四	一五〇五五	一五〇五六	一五〇五七	一五〇五八	一五〇五九	一五〇六〇	一五〇六一	一五〇六二	一五〇六三	一五〇六四	一五〇六五	一五〇六六	一五〇六七	一五〇六八	一五〇六九
對照區	一五〇七〇	一五〇七一	一五〇七二	一五〇七三	一五〇七四	一五〇七五	一五〇七六	一五〇七七	一五〇七八	一五〇七九	一五〇八〇	一五〇八一	一五〇八二	一五〇八三	一五〇八四	一五〇八五	一五〇八六	一五〇八七	一五〇八八	一五〇八九
瀋桑藥劑區	一五〇九〇	一五〇九一	一五〇九二	一五〇九三	一五〇九四	一五〇九五	一五〇九六	一五〇九七	一五〇九八	一五〇九九	一五〇一〇〇	一五〇一〇〇一	一五〇一〇〇二	一五〇一〇〇三	一五〇一〇〇四	一五〇一〇〇五	一五〇一〇〇六	一五〇一〇〇七	一五〇一〇〇八	一五〇一〇〇九

即、第四齡開始區混合育に於ては藥劑區の生繭重は對照區に比し僅に重き結果を示せるも一蛾育に於ては藥劑區の生繭重は對照區に比し、大部分兩者の重量異らず。

次に第五齡開始區の濡桑藥劑區と瀋桑區とは共に殆ど差異なく、濡桑藥劑區と對照區との間にも明確なる差異を認むる能はず。

(四) 繭層量

生繭重を測定せる材料に就き同一方法により繭層量を秤量計算し對照區と試験區とを比較せる結果は次表の如し。

(1) 第四齡開始區

試驗區	國蠶日一〇六號		國蠶日一〇七號		×國蠶日一〇〇七二號	
	混合育	一 蛾 育	混合育	一 蛾 育	混合育	一 蛾 育
對照區	〇一七〇五 〇一七〇四	兩區を比較して増加せる區數	〇一六〇五 〇一六〇四	兩區を比較して増加せる區數	〇一六八五 〇一六八四	兩區を比較して増加せる區數
對照區	〇一七〇九 〇一七〇八	一區	〇一六〇九 〇一六〇八	各區の平均	〇一七二五 〇一七二四	各區の平均
藥劑區	〇一七七一 〇一七七〇	二—一〇	〇一七〇五 〇一七〇四	各區の平均	〇一七三六 〇一七三五	〇一七八五 〇一七八四

(2) 第五齡開始區

(イ) 滯桑藥劑區と滯桑區との比較

滯桑藥劑區	〇一七六七 〇一七六六	〇一〇〇〇 〇一〇〇〇	〇一六三二 〇一六三一	〇一八四〇 〇一八三九	〇一八七二 〇一八七一	〇一九九〇 〇一九八九
對照區	〇一七七一 〇一七七〇	〇一〇〇〇 〇一〇〇〇	〇一五四八 〇一五四七	〇一七〇八 〇一七〇七	〇一七二五 〇一七二四	〇一九九二 〇一九九一

(ロ) 滯桑藥劑區と對照區との比較

滯桑藥劑區	〇一七六六 〇一七六五	〇一〇〇〇 〇一〇〇〇	〇一五四八 〇一五四七	〇一七〇八 〇一七〇七	〇一七二五 〇一七二四	〇一九九二 〇一九九一
對照區	〇一八二二 〇一八二一	〇一〇〇〇 〇一〇〇〇	〇一四三七 〇一四三六	〇一八四〇 〇一八三九	〇一八七二 〇一八七一	〇一九九二 〇一九九一

即、第四齡開始區に於て藥劑區の繭層量は對照區に比し混合育に於ては各品種

を通じて僅に多き結果を示すも一蛾育の結果より兩者は差異なきものと推定するを得べく、第五齡開始區の濡桑藥劑區と濡桑區及濡桑藥劑區と對照區との間に於ても一定の傾向を認め難し。

(五) 絲 長

本劑使用により解舒絲量、絲長、織度に及ぼす影響の有無を調査する目的を以て各品種混合育の成繭に就て各試験區より上繭三〇—三五顆を擷取となし一粒繰絲を行ひたり、次に絲長の成績を比較すべし。

(1) 第四齡開始區

試 驗 區	國 蠶 日 一 〇 六 號			國 蠶 日 一 〇 七 號			× 國 蠶 日 一 〇 〇 六 號		
	♀	♂	平 均	♀	♂	平 均	♀	♂	平 均
對 照 區	五五四 <sup>(4)</sup>	六〇二 <sup>(4)</sup>	五七八、〇 <sup>(4)</sup>	五七九 <sup>(4)</sup>	五七〇 <sup>(4)</sup>	五七四、五 <sup>(4)</sup>	五三九 <sup>(4)</sup>	五三九 <sup>(4)</sup>	五三九、〇 <sup>(4)</sup>
藥 劑 區	五二一	五四九	五三五、〇	五七〇	五五八	五六四、〇	五六一	六〇三	五八二、〇

(2) 第五齡開始區

(イ) 濡桑藥劑區と濡桑區との比較

濡桑藥劑區	五二六、五	四三九	五三一	四八五、〇	六〇四	六三九	六二〇、五
濡桑藥劑區	五二六、〇	五〇七	五四一	五二四、〇	五五七	五八五	五七一、〇

（ロ）濡桑藥劑區と對照區との比較

對照區	四九七	五〇八	五〇二、五	四八一	五一九	五〇〇、〇	五三二	五九三	五六二、五
濡桑藥劑區	五四六	五二六	五三六、〇	五〇七	五四一	五二四、〇	五五七	五八五	五七一、〇

上表により第四齡開始區に於ける藥劑區と對照區との絲長を比較するに國蠶日一〇六號×同日一〇七號の成績は藥劑區の絲長對照區に比して優るも、他の二品種は之に反し兩者の間に大差なき結果を示せり。

次に第五齡開始區に於て濡桑藥劑區を濡桑區に比較するに國蠶日一〇六號及國蠶日一〇七號の兩品種にありては前者の雄繭に一つの例外を見るも兩者の成績は孰れも濡桑藥劑區の絲長は濡桑區より大なる事を示したり、然れども國蠶日一〇六號×同日一〇七號に於ては全く反對の成績を呈し何等一定の傾向を示さず、尙濡桑藥劑區を對照區に比較せる結果を見るに多くは濡桑藥劑區の絲長が長き結果を示せども其差は僅少なり。

以上の如くして本劑の絲長に及ぼす影響は各試験區の間に定まれる傾向を認め難し。

(六) 絲 量

絲量は前記絲長を測定せる材料より繭一顆の平均絲量を求め對照區と試験區とを比較せり、左に其成績表を掲げん。

(1) 第四齡開始區

試 驗 區	國 蠶 日 一 〇 六 號			國 蠶 日 一 〇 七 號			× 同 國 蠶 日 一 〇 〇 七 六 號		
	♀	♂	平 均	♀	♂	平 均	♀	♂	平 均
對 照 區	0.176 <sub>瓦</sub>	0.165 <sub>瓦</sub>	0.170 <sub>瓦</sub>	0.157 <sub>瓦</sub>	0.140 <sub>瓦</sub>	0.148 <sub>瓦</sub>	0.157 <sub>瓦</sub>	0.142 <sub>瓦</sub>	0.149 <sub>瓦</sub>
藥 劑 區	0.154 <sub>瓦</sub>	0.146 <sub>瓦</sub>	0.150 <sub>瓦</sub>	0.155 <sub>瓦</sub>	0.140 <sub>瓦</sub>	0.147 <sub>瓦</sub>	0.140 <sub>瓦</sub>	0.157 <sub>瓦</sub>	0.148 <sub>瓦</sub>

(2) 第五齡開始區

(イ) 濡桑藥劑區と濡桑區との比較

濡 桑 藥 劑 區	濡 桑 區	濡 桑 藥 劑 區	濡 桑 區	濡 桑 藥 劑 區	濡 桑 區	濡 桑 藥 劑 區	濡 桑 區
0.133 <sub>瓦</sub>	0.137 <sub>瓦</sub>	0.134 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.133 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>
0.133 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.134 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.133 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>
0.133 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.134 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.133 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>	0.131 <sub>瓦</sub>

(ロ) 濡桑藥劑區と對照區との比較

對照區	01107	01108	01109	01110	01111	01112	01113	01114	01115
濡桑藥劑區	01107	01108	01109	01110	01111	01112	01113	01114	01115

即第四齡開始區に於ける國蠶日一〇六號×同日一〇七號の成績は藥劑區の絲量對照區に比し少しく多く、國蠶日一〇六號は之に反し、國蠶日一〇七號は兩者の間に殆ど差異なく、各品種を通じて一定の傾向を示さず。

次に第五齡開始區にありては濡桑藥劑區と濡桑區及對照區とを比較するに何れの品種に於ても差異少なく且一定の傾向なし。

(七) 織度

織度は前記一粒繰絲の成績より算出し、對照區と試驗區との成績を比較せるが其結果左の如し。

(1) 第四齡開始區



試驗區	國露日一〇六號			國露日一〇七號			×國露日一〇〇七號		
	♀	♂	平均	♀	♂	平均	♀	♂	平均
對照區	二、三七 <sup>デニール</sup>	二、二〇 <sup>デニール</sup>	二、二九 <sup>デニール</sup>	二、二六 <sup>デニール</sup>	二、〇三 <sup>デニール</sup>	二、一五 <sup>デニール</sup>	二、三八 <sup>デニール</sup>	二、一八 <sup>デニール</sup>	二、二八 <sup>デニール</sup>
藥劑區	二、三九	二、二〇	二、三〇	二、二〇	二、一四	二、一七	二、四二	二、一三	二、二八

(2) 第五齡開始區

(イ) 濡桑藥劑區と濡桑區との比較

濡桑區	二、六一	二、三三	二、四七	二、一一	二、〇八	二、二三	二、〇四	二、一四
濡桑藥劑區	二、四三	二、二六	二、三五	二、一五	一、九六	二、〇六	二、三四	二、二一

(ロ) 濡桑藥劑區と對照區との比較

對照區	二、四一	二、二四	二、三三	二、三二	二、一九	二、二六	二、三五	二、一六	二、二六
濡桑藥劑區	二、四三	二、二六	二、三五	二、一五	一、九六	二、〇六	二、三四	二、二一	二、二八

上記の成績を通覽するに第四齡開始區に於ても第五齡開始區に於ても、藥劑の使用と否とに拘はらず殆ど其差異を見ず。

## 概 括

蠶病豫防劑の效果に關し同劑使用書により試験せる結果は偶々蠶兒の體重を増加する傾向なきに非るも濡桑給與區も同一の傾向を示せるは注意すべき事項なり、而して減蠶歩合、生繭重、繭層量、絲長、絲量等の比較に於ては其差を認むる能はず。

尙本劑給與試験に就ては既に大正九年度に於て熊本支場綾部支場にて施行せるものあり。

今其成績の概要を觀るに

熊本支場に於ては同年夏蠶及秋蠶の兩期に國蠶日一〇七號×(國蠶支九號×國蠶支一〇一號)なる三元雜種の健康蠶に就き第一齡、第三齡又は第五齡より上簇に至る迄本劑を給與し、其成績を普通桑區及濡桑區と對照し其効果の如何を調査せるが、其結果も各區共大體に於ては差異なく偶々濡桑區に比し減蠶歩合甚き場合ありと雖對照區とは差異なく、體量は對照區及濡桑區に比して稍重しと

雖繭層量、繭層歩合、絲長等は、大差なきか又は兩區に比して劣る場合ありて之が効果を確實に認むる能はずとせり。

更に綾部支場に於ける試験は、同年夏蠶期に於ては、軟化病を發生し幾分虛弱となれる國蠶支四號に對し四齡期より、秋蠶期に於ては發育良好なる國蠶歐七號に就き五齡期より本劑を給與し、此成績を其對照區たる普通桑給與區と比較調査したる上、本劑は之を虛弱蠶に使用するも斃蠶發生の模様は對照區と同一なるか若くは發病を幾分速進する傾向なきに非ず、健蠶に用ふる場合は其體量を明かに増加するも減蠶數は却て對照區より多き事實ありて、本劑の效果に就ては未だ疑なき能はずと結論せり。

上述の如く各試験成績も亦本劑の實用上の効果を認めざるは余の成績と一致する所なり。